

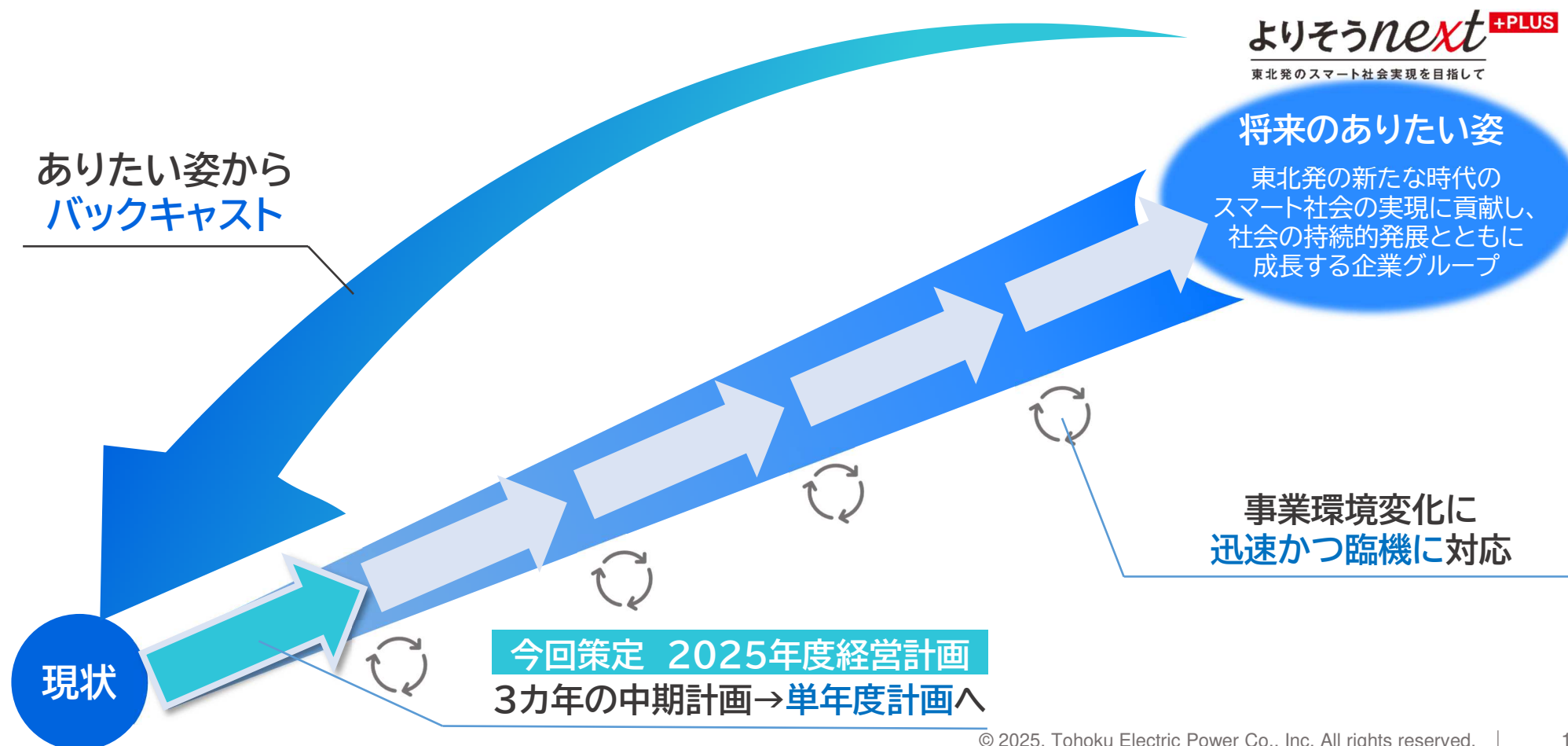
概要版

2025年度 東北電力グループ経営計画について

2025.4.30

将来のありたい姿からバックキャストする新たな経営計画体系

- 当社グループを取り巻く事業環境は刻一刻と変化し、不確実性が高まっています。このような状況下において、中長期ビジョンを実現するためには、現状からの延長ではなく、将来のありたい姿を見据えながら、事業環境の変化に迅速かつ臨機に対応していく必要があります。
- このため、中長期ビジョンに基づく具体的な計画について、2025年度より、従来のフォーキャストの視点で成果を積み上げていく「3カ年の中期計画」を、将来のありたい姿からバックキャストした「単年度計画」に見直すことといたしました。
- これにより、機動性の高い経営管理や事業展開を図り、中長期の成長にチャレンジしながら、ありたい姿の実現に向けて着実に歩みを進めてまいります。



- 中長期ビジョンにおける今後の経営展開として示した「よりそうnext+PLUS」において、電気・エネルギーを中心に据えた5つの領域と11の事業区分を設定しており、事業区分ごとに親和性の高いグループ企業と一体的なマネジメントを行いながら、事業単位で自律的に収益と成長を追求してまいります。
- また、カーボンニュートラル・DXを成長への機会として捉えるとともに、イノベーションなどを通じた既存事業の強化・拡張や新たな事業領域の拡大など、グループ全体で成長へチャレンジしていきます。

東北電力グループの2030年代のありたい姿

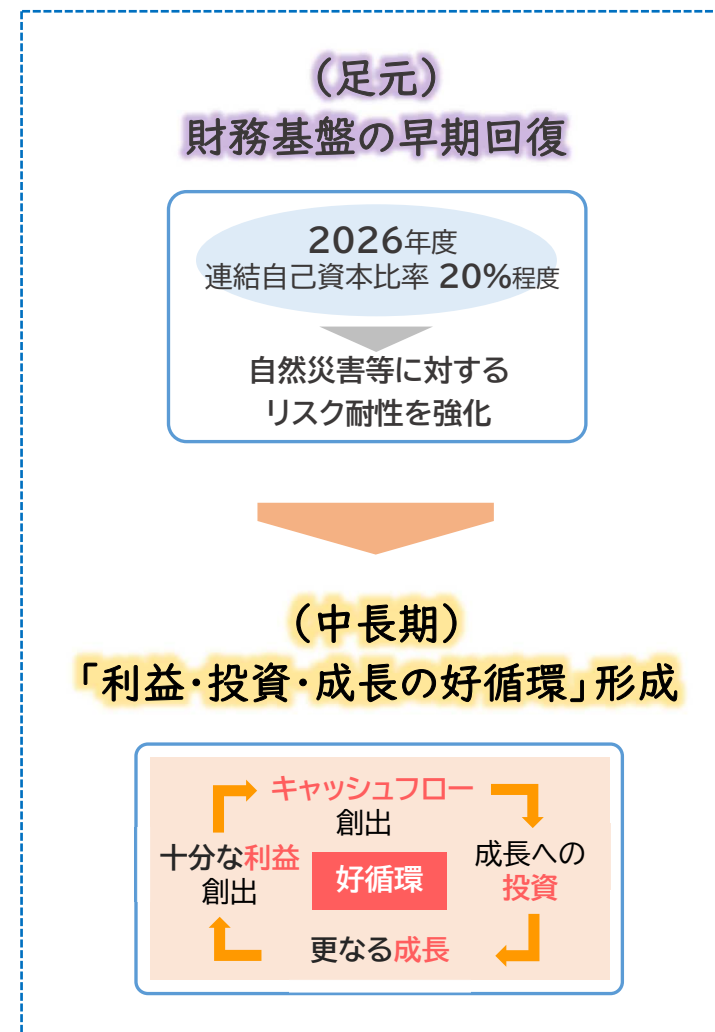
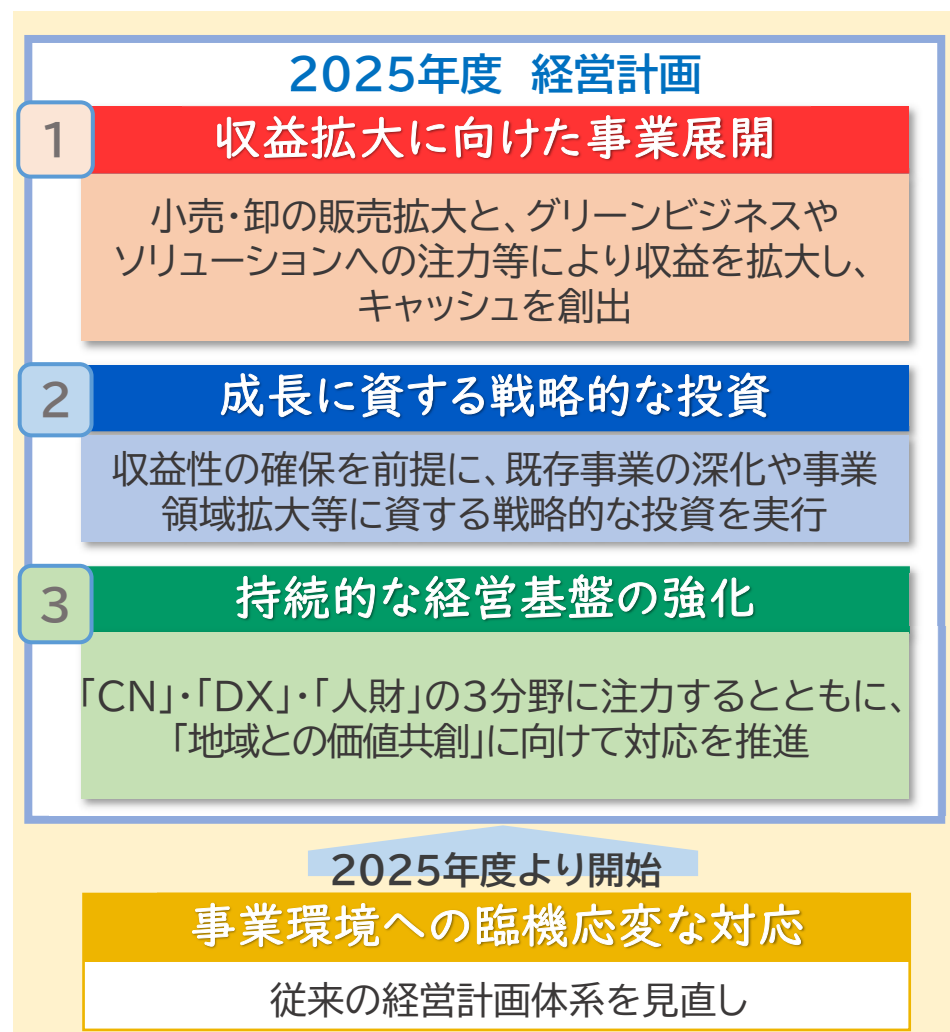
東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、社会の持続的発展とともに成長する企業グループ



※「情報通信事業」から「DX・IT事業」へ名称変更

2025年度 東北電力グループ経営計画の概要

- 2025年度においては、「収益拡大に向けた事業展開」、「成長に資する戦略的な投資」、「持続的な経営基盤の強化」に取り組みます。
- これらの取り組みを通じて、財務基盤の早期回復を図るとともに、中長期的な「利益・投資・成長の好循環」の形成につなげていきます。



- 2025年度においては、「グリーンビジネス領域」や「エネルギー・ソリューションサービス領域」での取り組みに注力し、特に、「グリーンビジネス領域」においては、「コーポレートPPAサービス」のさらなる販売拡大に取り組むとともに、「再エネアグリゲーションサービス」等の強化を進めていきます。
- また、「エネルギー・ソリューションサービス領域」においても、東北・新潟を軸に、エリアに捉われない事業展開で販売拡大を図るとともに、お客さまのニーズに応える付加価値の提供に取り組んでいきます。
- さらに、関連領域において、AI等の新分野におけるサービス開発にも挑戦していきます。



- 足元の事業環境変化に適応しながら各事業において着実に利益を創出することで自己資本を積み上げ、財務目標の達成に向けて取り組んでまいります。
- あわせて、中長期の視点に立って、電気事業の変化に対して付加価値を生むための戦略投資などを通じて、「利益・投資・成長の好循環」を形成していきます。

財務目標

	(見通し) 2025年度	(財務目標) 2026年度 2030年度	
利益指標 〔連結経常利益〕	1,900 億円	1,900 億円	2,000 億円以上
財務健全性指標 〔連結自己資本比率〕	19.5% 程度	20%程度	25%以上
収益性指標 〔連結ROIC〕	3.6% 程度	3.5%程度※	3.5%以上※

※ 目標達成時の連結ROEは8%以上

➡ 利益の創出を通じて着実に自己資本を積み上げて財務基盤の回復を進める

戦略投資

電力の安定供給に資する投資について、収益性を確保した投資規律強化と、徹底した効率化を図るとともに、電気事業の変化に対応して付加価値を生む戦略投資を2030年度までに3,000億円程度実施

主な取り組み

- 競争力の強化や収益性を踏まえた電源の脱炭素化投資
 - ✓ 長期脱炭素電源オプションを活用した東新潟火力6号開発(リプレイス)
 - ✓ 火力の脱炭素化に向けた実証試験
 - ✓ 洋上風力を中心とした再エネ投資
- 生成AIの急速な普及拡大に着目した、AI関連サービスの開発
 - ✓ 生成AIインフラサービス
 - ✓ 法人向けAIサービス など
- エネルギーマネジメントなど、多様なニーズに応え、新たなビジネスを創出するDX・IT基盤の強化

東新潟火力リプレイス



生成AIインフラサービス



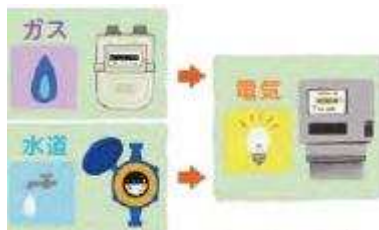
(写真提供: 株式会社GXテクノロジー)

- 電気事業の果たす役割が大きいカーボンニュートラルの達成に向けた対応(CN戦略)や、DXを活用したイノベーション・業務変革(DX戦略)、そして成長の源泉である人的資本の強化(人財戦略)に取り組んでいます。
- 今年4月に「総務・地域共創部門」を本店に設置し、これまで以上に地域の発展や課題解決を推進していきます。

人口減少をはじめとした社会課題の解決

- ・アセットやノウハウを活用した自治体・企業への付加価値提供
- ・社会起業家のサポートや価値共創に繋がるプログラムの開催
- ・観光や関係人口※など人の流れの創出

※ 特定地域に継続的に多様な形でかかわる人。観光以上移住未満とも例えられる



水道・ガス事業者向け
自動検針サービス
(東北電力ネットワーク)



社会起業家との
共創プログラム
(東北電力)



東北最大級の
キャンプイベント開催
(東北電力フロンティア)

未来を担う子どもたちへの体験機会の提供

- ・電気やエネルギーに興味・関心を持つ機会の提供
- ・中学生作文コンクール等の文化活動・スポーツ支援



職場体験
(東北電力ネットワーク)

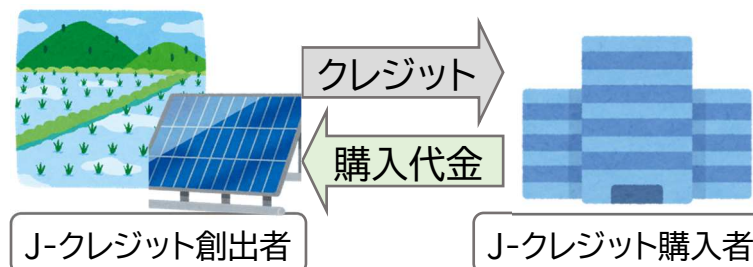


ゲーム感覚でエネルギーを
学べるアプリ(トインクス)



地域のカーボンニュートラル

- ・再生可能エネルギーを活用したソリューションや、熱源の電化のご提案
- ・カーボンクレジットの創出
- ・女川2号機の安全・安定運転の継続



地域の産業発展への貢献

- ・企業誘致支援活動の展開
- ・産業高付加価値化へのご提案



ホームページを活用した
電力供給情報の発信
(東北電力ネットワーク)



設備受託サービス
E's support+ (イーズ サポートプラス)